

夏季病院実習企画 模擬OSCE & BLS講習



8月29日、松江生協病院で夏季病院実習企画を行いました。参加学生は島大医学部の4年生8名と5年生2名の計10名。午前中、4年生は模擬OSCEを、5年生は中心静脈カテーテル留置のシュミレーションを行いました。午後からは全員で日本救急医学会認定のBLS講習に参加しました。

午前中の模擬OSCEでは、初めに外科領域の縫合とガウンテクニックを嘉本先生と横山先生に指導していただきました。その後3グループに分かれ、医療面接の練習を行いました。昨年OSCEを受験した5年生には先生役として入ってもらい、後輩に色々アドバイスをしてもらいました。本番に役立つアドバイスがもらえ、4年生は非常にためになったようです。

お昼には横山先生から、外傷に対する新しい治療法についてレクチャーしていただきました。学生はこれまでの概念を再考するきっかけになるような興味深いお話しだったと感想をあげてくれました。

午後からはBLS講習を行い、普段のBLS講習ではなかなか受けられない小児の蘇生法についても詳しく学びました。定期的に講習を受けることで、正しい蘇生法の復習や定着にもなり、5年生も満足してくれました。

1日を通して、5年生は後輩の指導にあたってくれ、感謝の気持ちでいっぱいです。冬に再度模擬OSCE実習を企画するので、4年生にはぜひまた参加してほしいと思いました。

☺学生の感想☺

●まだ大学で習っていないことを先に学ぶことができて大変勉強になった。医療面接においても先生、先輩方からフィードバックが受けられて参考になった

●ほとんどやったことがないことばかりでとてもためになった。
医療面接は特に、短時間で学ぶことが多かった

●OSCE実習についてはすべてが初めてで経験できたことがよかったと思う。
清潔についてなどもう少し学んだ後、OSCEや臨床のためにきちんとできるようになりたいと思った